

- 問1 ムハンマドがメッカでイスラム教の布教を始めた当初、現地の富裕層や権力者から激しい迫害を受けた理由として、最も適切な背景を説明したものを選びなさい。（2019年 埼玉県公立入試 類似）
1. 王を神の化身として崇拜すること
を強制したから
 2. 神の前ではすべての信者が平等で
あると説いたから
 3. 偶像崇拜を強く推奨し、古い寺院
を壊したから
 4. 特定の身分の人だけが救われると
いう教義だったから
- 問2 古代から中世にかけて、敦煌（とんこう）などのオアシス都市を経由してアジアとヨーロッパを結んだ「シルクロード（絹の道）」と呼ばれる交易路について、この道を通じて中国から西方へ運ばれたものと、西方から中国へもたらされたものの組み合わせとして正しいものはどれですか。（2016年 京都府公立入試 類似）
1. 中国からは絹織物が、西方からは
紙が伝えられた。
 2. 中国からは綿織物が、西方からは
ぶどうが伝えられた。
 3. 中国からは絹織物が、西方からは
ぶどうが伝えられた。
 4. 中国からは綿織物が、西方からは
紙が伝えられた。
- 問3 安土桃山時代に行われた朝鮮侵略（文禄・慶長の役）に関連して、日本の伝統的な陶芸技術が大きく発展した理由として最も適切な説明はどれですか。（2025年 岩手県公立入試 類似）
1. 渡来人が大陸から新しく須恵器の
作製技術を日本に伝えたから。
 2. 明から勘合を取り寄せて質の高い
陶磁器を大量に輸入したから。
 3. 聖武天皇が保護した正倉院の宝物
を手本にして作られたから。
 4. 朝鮮から多くの陶工が日本へ連れ
てこられ、各地で窯を開いたから。
- 問4 15世紀末のヨーロッパで作られた地球儀には描かれていなかった南アメリカ大陸で、独自の発展を遂げたインカ帝国の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2026年 大阪府公立入試 類似）
1. 大西洋と地中海を結ぶ交易の中継
地として、鉄製の武器や馬車を用い
ることで広大な領土を支配する中央
集権国家を築いた。
 2. メキシコ高原を中心に、巨大なピ
ラミッド型神殿を持つテノチティ
ランを首都として栄えたが、スペイ
ン人に滅ぼされた。
 3. アンデス山脈の厳しい自然環境に
適応するため、高地の斜面に段々畑
を造り、高度な石造技術を用いた都
市を建設した。
 4. ユカタン半島を中心に、高度な天
文学や数学を発達させ、独自の象形
文字や精密な暦を使用する都市国家
を形成した。
- 問5 11世紀末、地中海の東岸に位置するパレスチナ地方の聖地エルサレムがイスラム勢力の支配下に入ったことを受け、ローマ教皇の呼びかけによって組織されたヨーロッパ諸国の軍隊の名称を選びなさい。（2017年 三重県公立入試 類似）
1. 十字軍
 2. 宗教改革
 3. ギルド
 4. ルネサンス
- 問6 1492年に製作された現存する世界最古の地球儀には、当時のヨーロッパ人が存在を知らなかった南北アメリカ大陸が描かれていません。この大陸の南部に位置するアンデス山脈を中心に、16世紀前半にスペイン人に滅ぼされるまで独自の石造建築文化を築いた帝国を何といいますか。（2026年 大阪府公立入試 類似）
1. マヤ文明
 2. アステカ文明
 3. インカ帝国
 4. インダス文明
- 問7 紀元前16世紀ごろ、中国の黄河流域におこった古代国家において、神への問いかけや占いの結果を記録するために、亀の甲羅や牛の骨に刻んで使われていた文字を何と言いますか。（2019年 千葉県公立入試 類似）
1. 楔形文字
 2. 象形文字
 3. 甲骨文字
 4. インダス文字
- 問8 古代文明が共通して大河の流域で発達した理由と、その社会の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 山梨県公立入試 類似）
1. すべての文明において碁盤の目状
の計画的な都市が建設され、海岸沿
いの交易によって得た富を使い、市
民による民主的な議事堂を建設した
。
 2. 大河の氾濫を防ぐための治水や灌
漑によって農業生産力が高まり、王
などの支配者が現れて神殿を築き、
記録のために文字を使用した。
 3. 赤道周辺の熱帯地域において、自
然の産物を利用した狩猟採集を行い
、すべての住民が平等に暮らすため
の巨大な宮殿を建設した。
 4. 山岳地帯の厳しい自然環境に適応
するため、牧畜を中心とした生活を
送り、文字を持たずに口伝のみで法
律や歴史を伝承した。
- 問9 古代メソポタミア文明において、川のほとりで得られる粘土を板状にし、そこに葦（あし）などの茎の先を押し当てて刻まれた、独特の形状を持つ文字を何と言いますか。（2024年 奈良県公立入試 類似）
1. 楔形文字
 2. 甲骨文字
 3. アルファベット
 4. 象形文字
- 問10 チグリス川とユーフラテス川の流域で成立した古代文明において、粘土板に刻んで使用されていた文字を何と言いますか。（2016年 大分県公立入試 類似）
1. 楔形文字
 2. インダス文字
 3. 象形文字（ヒエログリフ）
 4. 甲骨文字
- 問11 中国の遺跡から出土した、白く平らな骨の表面に、直線で構成された細かな記号が多数刻まれている資料があります。この資料が作成された背景や特徴について述べた文として、正しいものはどれか次の中から選びなさい。（2020年 新潟県公立入試 類似）
1. 周の時代に、役人が広大な領土を
管理するための法律を粘土板に刻ん
だ。
 2. 漢の時代に、シルクロードを通じ
て伝わった西方文明の文字を模写し
た。
 3. 秦の始皇帝が、全国で異なる文字
が使われないよう、竹簡に統一した
文字を記した。
 4. 殷の王が国を治める際、神の意思
を問う占いの内容を記録するために
刻んだ。
- 問12 11世紀末、ローマ教皇の呼びかけに応じて組織された「十字軍」が、長期にわたって大規模な遠征を繰り返した主な目的として正しいものはどれですか。（2023年 山梨県公立入試 類似）
1. 免罪符（贖宥状）を販売するため
の新しい市場を開拓すること
 2. プロテスタントの勢力を抑えるた
めに新航路を発見すること
 3. 聖地エルサレムをイスラム勢力の
支配から奪還すること
 4. 地中海周辺のキリスト教諸国を武
力によって統一すること
- 問13 世界史と日本史の年代を照らし合わせたとき、7世紀の出来事の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 千葉県公立入試 類似）
1. シャカによる仏教の創始と、日本
での稲作の普及
 2. 孔子による儒教の成立と、日本で
の古墳の築造
 3. イエスによるキリスト教の成立と
、日本での仏教の伝来
 4. ムハンマドによるイスラム教の成
立と、日本での「大化」の元号の使
用
- 問14 アフリカのナイル川流域で発展した古代エジプト文明において、川の定期的な増水を予測し、農作の時期を正確に把握するために作成された暦（こよみ）を何と言いますか。（2026年 沖縄県公立入試 類似）
1. グレゴリオ暦
 2. 太陽暦
 3. 二十四節気
 4. 太陰暦

答え合わせ・解説

問1	答え 2 神の前ではすべての信者が平等であると言いたから	イスラム教は、神の前での平等を説き、貧しい人々への施しを重視しました。この教えは、商業によって利益を独占し、身分格差を維持しようとしていたメッカの富裕層にとって、既存の社会秩序を脅かす危険な思想とみなされたため、厳しい弾圧を受けることになりました。
問2	答え 3 中国からは絹織物が、西方からはぶどうが伝えられた。	中国の特産品であった絹織物は、西方で非常に高く評価され、この交易路の名称の由来にもなりました。一方、西方からはぶどうやスイカなどの農作物のほか、馬や宝石、そしてインドからの仏教などが中国へもたらされました。綿織物は主にインドから伝わったものであり、紙は中国で発明されたものですが、この時期に西方から中国へもたらされた主要な産物ではありません。
問3	答え 4 朝鮮から多くの陶工が日本へ連れてこられ、各地で窯を開いたから。	安土桃山時代に豊臣秀吉が行った朝鮮侵略の際、連れてこられた朝鮮の陶工たちによって有田焼や薩摩焼などの優れた陶芸技術が日本に伝わり発展しました。勘合貿易は室町時代、須恵器の伝来は古墳時代、正倉院は奈良時代の出来事となります。
問4	答え 3 アンデス山脈の厳しい自然環境に適応するため、高地の斜面に段々畑を造り、高度な石造技術を用いた都市を建設した。	インカ帝国は標高の高いアンデス山脈に位置していたため、限られた土地を有効に活用する段々畑の技術や、地震にも耐えるほど精巧な石造建築が特徴です。メキシコ高原で栄えたのはアステカ文明、ユカタン半島で栄えたのはマヤ文明であり、地理的条件や文明の特色によって明確に区別されます。
問5	答え 1 十字軍	11世紀後半、セルジューク朝（イスラム勢力）がパレスチナ地方の聖地エルサレムを占領したため、ローマ教皇ウルバヌス2世がその奪還をヨーロッパの諸侯や騎士に呼びかけました。この呼びかけに応じて組織された軍隊を十字軍と呼び、13世紀後半まで断続的に遠征が行われました。
問6	答え 3 インカ帝国	南アメリカ大陸のアンデス山脈沿いに広まったこの帝国は、文字を持たない代わりに「キープ」と呼ばれる紐の結び目で情報を記録し、マチュピチュのような高地都市や精巧な石造建築を発達させました。1492年の地球儀に描かれていないのは、コロンブスの到達以前でヨーロッパにその存在が知られていなかったためですが、16世紀にピサロ率いるスペイン人によって征服されました。
問7	答え 3 甲骨文字	古代中国の殷では、政治の重要な決定を占いに頼っており、その内容を記録した文字が現在の漢字の原型となりました。エジプトの象形文字、メソポタミアの楔形文字、インダス文明のインダス文字など、他の古代文明で使われていた文字との違いを区別しておく必要があります。
問8	答え 2 大河の氾濫を防ぐための治水や灌漑によって農業生産力が高まり、王などの支配者が現れて神殿を築き、記録のために文字を使用した。	大河の周辺では、定期的な氾濫によって運ばれる肥沃な土壌を利用した農耕が可能でしたが、大規模な治水や灌漑を行うには多くの人々を組織化する強力な指導者が必要でした。こうして誕生した国家の王は、自らの権力を示すために神殿や宮殿を建設し、徴税や行政の記録、法律の公布などの必要性から文字を発明して使用しました。
問9	答え 1 楔形文字	ティグリス川・ユーフラテス川流域のメソポタミアでは、石材やバビルスが少なかった一方で、質の良い粘土が豊富に得られました。そのため、乾く前の粘土板に尖った道具を押し当てて記録する手法が発達しました。その刻み跡が「くさび」の形に見えることから、この名称で呼ばれています。
問10	答え 1 楔形文字	この地域では、湿った粘土の板に葦などの茎を押し当てて文字を刻んでいました。その形状が「くさび」に似ていたことから楔形文字と呼ばれます。亀の甲羅や牛の骨に刻まれたのは中国文明の甲骨文字、ナイル川流域で使われたのはエジプト文明の象形文字です。
問11	答え 4 殷の王が国を治める際、神の意思を問う占いの内容を記録するために刻んだ。	殷の時代は神権政治が行われており、戦争や祭祀、農作物の収穫などの重要な事柄はすべて占いによって決められていました。出土した骨に刻まれている直線的な記号は、占いという宗教的な行為を記録するための甲骨文字であり、当時の王権が宗教的な権威に基づいていたことを裏付ける貴重な史料となっています。
問12	答え 3 聖地エルサレムをイスラム勢力の支配から奪還すること	11世紀にイスラム勢力のセルジューク朝がキリスト教の聖地であるエルサレムを占領したことを受け、ローマ教皇ウルバヌス2世が奪還を呼びかけたことが始まりです。この遠征は約200年にわたって続けられ、ヨーロッパ社会の変化に大きな影響を与えました。
問13	答え 4 ムハンマドによるイスラム教の成立と、日本での「大化」の元号の使用	イスラム教は7世紀に成立し、同じ時期の日本では645年に大化の改新が始まり、日本初の元号である「大化」が制定されました。キリスト教の成立は1世紀（日本は弥生時代）、仏教の成立は紀元前（日本は縄文～弥生移行期）、儒教の成立も紀元前であり、いずれも7世紀の出来事ではありません。
問14	答え 2 太陽暦	ナイル川は毎年決まった時期に増水し、周囲に肥沃な土壌をもたらしました。この氾濫の周期を把握することは、農業を行う上で極めて重要であったため、天体の動きを観察することで1年を365日とする太陽暦が考案されました。これは後にローマで採用され、現在の暦の基礎となりました。